



# 青島の風

青島日本人学校だより  
平成30年6月1日  
校長 金森 孝子

## 中国での今を大切に

初夏の気配が感じられる頃、青島日本人学校の周りには、月季の花で満開になります。ちょうど徒競走記録会の時期と重なって、まるで、月季が子どもたちの走りを見守っているようです。薔薇の花とよく似て「コウシンバラ」と訳されるこの月季は、青島市の花となっています。この時期、色々な種類を青島で楽しむことができます。



先日、中国日本人学校会が蘇州であり、13校の校長が集まりました。広い中国ですから、各々の学校にその都市ならではの特徴、よさと違いがあり、抱える課題も様々でした。講演の中に、とても興味深い話がありました。来賓の北京大使館の参事官は、中学校長経験をもつ異例の経歴の方でしたが、「中国の日本人学校で学んだことを誇りに思う子どもの育成を!」をということを強く強調されました。というのも、中国の在



外施設出身者は、日本で一般的な中国に対するイメージのマイナス面を心配して、自分が中国にいたことを隠す傾向があるというのです。「今や、中国は、GDP 世界第2位。経団連の21世紀政策研究所の予測では、2050年には、中国はアメリカを抜いて第1位になる。日本企業に勤めたつもりがいつの間にか中国の会社になっていた、そういうことも起こりうる時代になるだろう。そのとき、今、中国の日本人学校にいる多くの子どもは、現在、中国で学んでいることが大いに生きてくる。中国で直接体験し感じたことが、大きな力になる。」

5月15日(火)は上清路小学校と小学部の交流会でした。同校との交流は10年目に入りました。音楽、体育、英語、数学、図工の授業に参加し、一緒に同じ課題に取り組む中で、自然と子ども同士のかかわりが生まれていました。また、今年度から、小学部3年~6年の中国語の学習を「初級」「中級」のクラスに分かれて実施しています。子どもたちの学ぶ姿勢に、学びの原点をみた思いがしています。「中国語を今よりもっと理解できるようになりたい」「新しい言葉を獲得したい」など、子どもの思いや願いに応えられるように、講師と共に、楽しく力のつく教育活動が展開できるように授業の組み立てをしています。ご理解とご支援をお願いいたします。

## 健康診断

保健担当：迎 香純

5月21日(月)に健康診断がありました。耳鼻科、眼科、歯科、聴力など、さまざまな検診を受けました。小学部1年生は、初めての検診ということもあり、ドキドキの連続だったようです。前の人の検査が終わると、「大丈夫?痛くなかった?」と確かめる姿が微笑ましかったです。歯科検診では、カラーテストを行いました。タブレット(歯垢染色剤)を口に入れて、歯の磨き残しがないかどうかチェックをするものです。真っ赤に染まった口の中を見て、びっくりしている様子でしたが、手鏡とにらめっこしながら、一本ずつ丁寧に歯を磨きなおすことができました。

4校時は歯科講話がありました。「どのようにすれば虫歯ができなくなるか」というお話をしてもらいました。子どもたちは、「歯みがきをすればよい」と元気に答えることができました。もちろん歯みがきは大事ですが、ポイントは「歯を磨いた後、しっかり水分を摂ること」だそうです。歯磨き粉に含まれているアルコールが、口の中の唾液を減らしてしまうことが原因だということでした。お弁当を食べ終わった後、子どもから「先生!ちゃんと水を飲まないといけませんね!」という声が聞かれました。歯科講話の話をしっかりと聞き、行動に移す姿はとても立派でした。

検診の結果は、後日しおり等にまとめて連絡します。対象の児童には「要観察のお知らせ」も配布しますのでご確認ください。



## 小学部 修学旅行

6年担任 富川 淳

5月23日から25日までの3日間、小学部6年生は修学旅行で、山東省の泰安、済南、維坊へ行ってきました。山東省は孟子、孔子の出生の地とされ、流れる黄河は文明発祥の一端を担っている地であり、中国の中でも歴史の深い地となっています。

子どもたちが一番楽しみにしていたのが泰山への登山でした。岱廟を見学した後、登山のスタート地点となる中天門に向かい、全員で円陣を組んで「絶対にあきらめないぞ」と気持ちをひとつにして一步を踏み出しました。約4000段、ビルにすれば200階にも相当する階段は想像以上に辛い道でしたが、全員で励まし合い、2時間かからず目的の南天門まで登り切ることができました。次の日は天候にも恵まれ、ご来光をしっかりと見ることができました。朝四時起きで眠い目をこすりながら日が昇るのを待っていましたが、空がオレンジ色に染まっていく様子を見てみんな感動していました。

他にも、黄河、大明湖、黒虎泉、山東省博物館、楊家埠、十笏園を巡り、版画体験などその歴史を肌で感じながらの学習することができました。

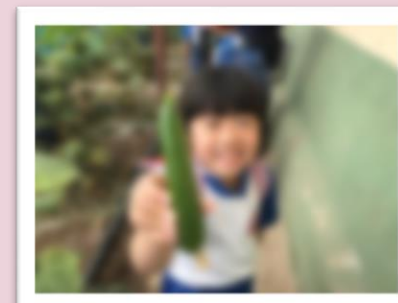
修学旅行のテーマでもあった「ひとまわり成長した自分を目指して」の通り、時間を守ること、仲間と助け合い絆を深めることなど、学習のみならず大きな学びのあった修学旅行となりました。この学びをさらに広げて、卒業に向けてがんばっていきたいと思います。



## 小学部 (1年2年3年) 農業体験

小学部 2年担任 吉田 明弘

低学年ブロックでは、毎年、さつまいもの苗植えと芋ほりをジャスコさんの契約農家でさせていただいています。さつまいもは、学校でも種芋の苗出しから育て、畑に苗を植えるので、契約農家で植えた苗が育っていく過程も間近、そして継続的に観察することができます。また農場では、さつまいもの他にキュウリやナス、ジャガイモやトマトなども観察させていただき、子どもたちは毎日食べる野菜がどのように育っているのかを学びます。このような貴重な学びの場を提供してくださるジャスコのスタッフの方、契約農家の方、本当にありがとうございます。



## お知らせ

- 「国際会議開催による特別休業期間」の変更はありません。6月12日(火)が次の登校日です。万が一、緊急対応を要する場合(新たな通知によって登校できないと判断されたとき)、連絡網での連絡をいたします。
- 6月12日から、新たに1名の教員が着任いたします。「福留さゆり」教諭です。今後、各学年において、若干の時間割変更等があります。14日付の学年だより等でお知らせいたしますので、よろしくおねがいたします。